

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスLiebeままはら		令和7年 3月 21日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		環境的にも広い活動スペースとなっております。さらにお子様の様子や遊びに合わせて、スペースを分け過ぎやすい環境づくりに努めています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	玄関は自動ドアということもあり、段差はありません。また、張り紙や絵カード等を用いて意思疎通がスムーズに行えるよう工夫しております。	現在はスロープを必要とするお子様はいないため、今後スロープを必要とする機会があれば設置していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3			良く動く児童とそうでない児童と分けて見れるようにした方がよいのではないかという意見があった。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	クールダウン時や学習等で希望の場合には、面談室（個別）の使用をしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		改善に努めています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		改善に努めています。	今後も自己評価を実施し、ホームページで結果を公表していきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		朝礼や終礼、月例会議等を通して職員間で意見を交換し業務改善につなげるよう努めている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		評価機関にて施設を評価していただき、業務改善につなげていけるよう努めています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		eラーニングの体制を整え、意欲的に研修を受けています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		作成、公表を行っております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		5領域に沿った個別支援計画を心がけ最新の基準に基づいて作成しております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		会議等で共有し、お子様の支援に活かせるよう心がけています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		会議等で共有し、お子様の支援をしています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		今後も標準化されたアセスメントツールを活用し、お子様の状況把握に努めます。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		今後もガイドラインに沿って、支援内容を決定していきます。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1		今後も担当を分け、職員同士で意見を出し合いながら、活動プログラムの立案を取り組んでいきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3			固定化しない様、職員間で担当プログラムの交代や情報共有を実施していきます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	1		毎日お子様の状況に合わせて、個別活動と集団活動を実施していきます。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	LINEWORKSなどを使い、随時情報の更新と共有を行っている。朝礼の時間を設けて活動の流れや支援方法の確認を行っています。	今後も情報共有の徹底を職員間で行っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	終礼を行い、重要な情報はその日のうちに共有を行うようにしています。	今後も情報共有の徹底を職員間で行っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		HUGシステムを使用し改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		今後も職員全体でモニタリングを行い、支援計画の見直しを実施していきます。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		担当者会議にはそのお子様の状況をよく把握しているスタッフが参加するようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		協力医療機関を設置しており、今後も支援を行えるよう体制、連携を整えていきます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		送迎時などで情報共有を行うように努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2		まだ開所したばかりということもあり、事例は少ないですが関係各所との関係構築、情報共有を図っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		3		今後機会を設けていきます。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	2		今後機会を設けていければと思います。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		送迎、LINE、連絡帳など、常にやり取りしやすい環境を整えるよう努めています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	親子体験時に相談をお聞きしたりしました。	今後も継続して行っていければと思います。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時、内容変更時、利用者様から質問を受けた際などには適切な説明を行うようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		お子様については主に利用中、ご家族については送迎時、LINE、面談での意向確認をする機会を設けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		電子データにてサインをもらっています。	口頭でもより分かりやすいように説明できるように自己研鑽に努めていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		送迎時などで悩みの相談、助言を行い、ご希望に応じて面談など機会を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		親子活動プログラムを行い、保護者同士の交流する機会を設けています。	

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		LINEにて定期連絡を行ったり、緊急を要する内容等は電話連絡にて迅速に対応を行うよう努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		LINEやHUGシステムにてイベントのご案内をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		今後も個人情報の取り扱いには十分に注意するとともに、SNS等に画像をアップロードする際は肖像権同意書を頂き、それに沿った対応をしていきます。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		必要に応じて、絵カード等の構造化を図り、分かりやすいよう工夫しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3			事業所としては行うことができておりませんが、会社全体として夏祭りなどで地域住民との交流をする機会を検討しております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各種委員会で定期的にマニュアルの見直し、訓練を行っております。防災マニュアルについては玄関にも掲示しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		施設には防災リュックや備蓄品を用意してあります。今後も必要に応じて備蓄の見直しをしていきます。月に一回訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3		アセスメント、契約の際に必ず確認しております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1		医師の指示書をご提出していただいた際にはそれに基づいた対応を行っていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画を作成した上で支援を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			契約時等でご家族様との連携が図れるよう共有してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		月に1回は会議にて事例を共有し対策を行っています。作成時にはその都度共有し対策をしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		社内で行い適切に対応できるよう努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		保護者様に説明した上で今後も支援計画を作成してまいります。		